

「インフルエンザワクチンとチメロサルについて説明」

- ・チメロサルは予防接種の薬に殺菌・防腐剤として含まれるエチル水銀です。
- ・何人もの人々に予防接種を行うにはこの殺菌・防腐剤は必要でした。
- ・1990年代はエチル水銀の蓄積と自閉症との関連が問題視されましたが、現在では否定されています。
- ・それでも、現在の各種予防接種の薬にはチメロサルを含まないものが増えており、含まれていてもごく少量で、健康には問題ないレベルです。
- ・現在使用されている一般のインフルエンザワクチンも少量ですがチメロサルは含まれています。
- ・どの予防接種にも副反応として発熱、発疹、接種部位の腫れや発赤がおこる人がいます。この原因として、チメロサルも可能性がありますが、他にも含有物が複数入っているため、何が原因かは特定できません。
- ・チメロサルなし（フリー）のインフルエンザワクチンを選択する理由とすれば、①過去にチメロサルありのもので接種部位の腫れや発赤、痛みがひどかった。②アレルギー体質なので、念のためチメロサルなしをうっておきたい。③妊婦であるので不安を持っている。などがあげられますが、チメロサルなしなら副反応はおこらないという保証はありません。
- ・チメロサルなしの注射は製造に手間がかかるので、生産量が少なく、割高になります。
- ・以上の点を踏まえ、ご理解、ご希望があれば当クリニックでは「チメロサルなし」のものを接種します。